

# 目次

## 概要

[Cisco Aironet ワイヤレスブリッジとは何ですか。](#)

[シスコはどのような種類のワイヤレスブリッジを提供していますか。](#)

[最新のファームウェア、ドライバ、ソフトウェアはどこからダウンロードできますか。](#)

[コンソールポートを使用して Cisco Aironet ワイヤレスブリッジを接続する方法を教えてください。](#)

[シスコワイヤレス製品のうち、全二重でワイヤレスブリッジを実行できる製品はありますか。](#)

[2つのブリッジ間で通信できないのはなぜですか。](#)

[ワイヤレスブリッジにIPアドレスを設定する方法を教えてください。](#)

[ブリッジのファームウェアのアップグレード方法を教えてください。](#)

[ワイヤレスクライアントをブリッジと関連付けることはできますか。](#)

[ブリッジの設定の保存方法を教えてください。](#)

[Cisco Aironet ワイヤレスブリッジの Aironet 拡張機能を無効にすることはできますか。](#)

[ブリッジと関連付できるデバイスを教えてください。](#)

[ブリッジ通信の周波数を教えてください。](#)

[Cisco Aironet ワイヤレスブリッジではどのような種類の暗号化オプションを利用できますか。](#)

[Cisco Aironet ワイヤレスブリッジではどのような種類の認証メカニズムがサポートされますか。](#)

[WEP キーとは何ですか。](#)

[ブリッジのパスワードを忘れてしまった場合は、どうしたら回復できますか。](#)

[ワイヤレスブリッジの一般的な通信範囲はどの程度ですか。](#)

[ブリッジのイーサネットポートの速度はどのくらいですか。](#)

[ブリッジの無線周波リンクに対する干渉の発信元として考えられるものは何ですか。](#)

[ブリッジを工場出荷時のデフォルト設定に戻す方法を教えてください。](#)

[ワイヤレスブリッジでサポートされているモードを教えてください。](#)

[アンテナにはラインオブサイトが必要ですか。](#)

[340 および 350 シリーズ ワイヤレスブリッジは Cisco IOS® に変換できますか。](#)

[連携して動作する 2 台の Cisco 1310 ブリッジを購入しましたが、同じワイヤレスネットワークにある Cisco 342 ブリッジが、これらの Cisco 1300 ブリッジと通信できません。これらのブリッジには互換性がありますか。](#)

[Cisco 340 シリーズ ワイヤレスブリッジに複数の VLAN を設定することはできますか。](#)

[SSID をインフラストラクチャモードに設定する必要があるのはどのような場合ですか。またこのパラメータは、ワイヤレスブリッジ、アクセスポイント \(AP\)、または WGB でどのように設定しますか。](#)

[ワイヤレスブリッジは、Cisco ルータと同様に Netflow をサポートできますか。](#)

[Cisco 1410 ワイヤレスブリッジは、Wi-Fi Protected Access2 \(WPA2\) または Advanced Encryption Standard \(AES\) をサポートしますか。](#)

[1310 ワイヤレスブリッジがブリッジモードで動作する場合とアクセスポイント \(AP\) モードで動作する場合の、それぞれの最大通信範囲はどの程度ですか。](#)

[1300 ブリッジで壁用マウントキットと内部アンテナを組み合わせることはできますか。](#)

[壁用マウントキットに設置した内部アンテナ搭載の 1310 ワイヤレスブリッジは調整可能ですか。それとも固定されていますか。](#)

## 関連情報

## 概要

このドキュメントでは、Cisco Aironet ワイヤレスブリッジに関するよくある質問 (FAQ) に回答しています。

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコテクニカルティップスの表記法](#)』を参照してください。

### Q. Cisco Aironet ワイヤレスブリッジとは何ですか。

A. Cisco Aironet ブリッジは単一の LAN に 2 つ以上のリモート ネットワークを接続するワイヤレス LAN トランシーバです。構内の建物間ワイヤレス接続の確立に使用できます。

### Q. シスコはどのような種類のワイヤレスブリッジを提供していますか。

A. シスコは次のワイヤレスブリッジのプラットフォームを提供しています。

- [Cisco Aironet 1400 シリーズ](#)
- [Cisco Aironet 1300 シリーズ](#)

以下の Cisco Aironet ブリッジのプラットフォームは生産/販売を終了しているため、シスコに注文することはできません。また、シスコによる直接サポートも終了している可能性があります。

- Cisco Aironet 350 シリーズブリッジ
- Cisco Aironet 340 シリーズブリッジ

### Q. 最新のファームウェア、ドライバ、ソフトウェアはどこからダウンロードできますか。

A. Cisco Aironet 機器は、すべてのコンポーネントに最新バージョンのソフトウェアがロードされている場合に最も適切に動作します。最新のソフトウェアとドライバは、[ワイヤレスダウンロードのページ](#) ( [登録ユーザ専用](#) ) からダウンロードできます。

### Q. コンソールポートを使用して Cisco Aironet ワイヤレスブリッジを接続する方法を教えてください。

A. すべての Cisco Aironet ワイヤレスブリッジが、コンソールポートを装備しているわけではありません。Cisco Aironet 1300 シリーズと 350 シリーズワイヤレスブリッジには、コンソールポートが搭載されています。

コンソールポートを使用して 350 シリーズワイヤレスブリッジを接続するには、次の手順を実行します。

1. 9 ピン オスと 9 ピン メスのコネクタの付いたストレート型ケーブルを使用して、コンピュータの COM1 または COM2 ポートをワイヤレスブリッジの RS-232 ポートに接続します。
2. HyperTerminal、ProComm、Minicom などのターミナルエミュレーションプログラムを使用します。
3. ポートに次の値を設定します。速度：9600 ビット/秒 ( bps ) データビット：8ストップビット：1パリティ：noneフロー制御：Xon/Xoff

コンソールポートを使用して 1300 シリーズ ワイヤレス ブリッジを接続するには、次の手順を実行します。

9 ピン メスの DB-9 to RJ-45 シリアル ケーブルを、パワー インジェクタの RJ-45 シリアルポートと、使用している PC の COM ポートに接続します。

コンソールポートを搭載していない 1400 シリーズ ワイヤレス ブリッジで、無線 LAN にブリッジを接続せずにブリッジをローカルで設定する必要がある場合は、カテゴリ 5 イーサネット ケーブルを使用して長距離パワー インジェクタのイーサネットポートに PC を接続できます。シリアルポート接続を使用するのと同じように、パワー インジェクタのイーサネットポートへのローカル接続を使用できます。PC をパワー インジェクタに接続するのに特別なクロス ケーブルは必要ありません。ストレート ケーブルまたはクロス ケーブルを使用できます。

## **Q. シスコ ワイヤレス製品のうち、全二重でワイヤレスブリッジを実行できる製品はありますか。**

A. いいえ。802.11 規格は、Carrier Sense Multiple Access/Collision Avoidance ( CSMA/CA ) 送受信環境を規定するものです。したがって、すべての 802.11 は本質的に半二重/シンプレックスです。

## **Q. 2 つのブリッジ間で通信できないのはなぜですか。**

A. 2 つのブリッジが相互に通信するには、一方がルートモード、もう一方が非ルートモードであることが必要です。

ブリッジのデフォルト設定はルートです。そのため、デフォルト設定では 2 台のブリッジの両方がルートモードになるため、通信できません。

## **Q. ワイヤレスブリッジに IP アドレスを設定する方法を教えてください。**

A. ワイヤレスブリッジには、次の方法で IP アドレスを割り当てることができます。

- IP アドレスを自動的に割り当てるには、DHSP サーバを使用します ( 使用可能な場合 ) 。
- ブリッジにコンソールポートが搭載されている場合は、ブリッジのコンソールポートを使用して静的 IP アドレスを割り当てます。

1300 シリーズ アクセスポイント ( AP ) /ブリッジをデフォルト設定で LAN に接続する場合、AP またはブリッジは DHCP サーバから IP アドレスを受信しようとします。DHCP サーバが見つからないと、AP/ブリッジは引き続き DHCP アドレスを要求します。この条件を排除するためには、コンソールポートを使用して AP/ブリッジに接続し、静的 IP アドレスを設定する必要があります。

1400 シリーズ ブリッジをデフォルト設定で LAN に接続する場合、ブリッジは DHCP サーバから IP アドレスを受信しようとします。DHCP サーバが見つからない場合、ブリッジはデフォルトの IP アドレス、10.0.0.1/255.255.255.224 を使用します。

350 LAN DHCP IP DHCP サーバが見つからない場合、ブリッジはデフォルトの IP アドレス、10.0.0.1/255.255.255.224 を使用します。

## **Q. ブリッジのファームウェアのアップグレード方法を教えてください。**

A. ワイヤレスブリッジのソフトウェアイメージをアップグレードする方法については、次のドキュメントを参照してください。

- [350 シリーズ ワイヤレスブリッジのアップグレード](#)
- [1300](#)
- [1400](#)

## Q. ワイヤレスクライアントをブリッジと関連付けることはできますか。

A. ブリッジのプラットフォームによって異なります。

350 シリーズ ワイヤレスブリッジは、非ルートブリッジとして設定した場合に、クライアントへのサービス提供をサポートします。

1300 シリーズ ワイヤレスブリッジは、ルートモードと非ルートモードの両方でワイヤレスクライアントへのサービス提供をサポートします。

注これには、ワイヤレスブリッジの GUI の [Network Interfaces] ページで、[Role in Radio Network] の下にあるブリッジの役割を定義する際に、[Root Bridge with Wireless Clients] または [Non-Root Bridge with Wireless Clients] を選択する必要があります。

1400 シリーズは、ワイヤレスクライアントへのサービス提供をサポートしていません。

## Q. ブリッジの設定の保存方法を教えてください。

A. 設定に対する変更はただちに保存されます。また現在の設定を送信することもできます。これについては、次のドキュメントを参照してください。

350 シリーズ ワイヤレスブリッジについては、『[Cisco Aironet 350 シリーズブリッジソフトウェアコンフィギュレーションガイド](#)』の「構成のダウンロード、アップロード、およびリセット」セクションを参照してください。

1300 シリーズ ワイヤレスブリッジについては、『[Cisco Aironet 1300 シリーズ屋外アクセスポイント/ブリッジでの Cisco IOS ソフトウェアコンフィギュレーションガイド \( 12.3\(7\)JA \)](#)』の「コンフィギュレーションファイルの操作」セクションを参照してください。

1400 シリーズ ワイヤレスブリッジについては、『[Cisco Aironet 1400 シリーズブリッジソフトウェアコンフィギュレーションガイド \( 12.2\(15\)JA \)](#)』の「コンフィギュレーションファイルの操作」セクションを参照してください。

## Q. Cisco Aironet ワイヤレスブリッジの Aironet 拡張機能を無効にすることはできますか。

A. このブリッジは、他のワイヤレスブリッジとの通信品質を改善するために、デフォルトで Cisco Aironet 802.11 拡張機能を使用します。

Aironet 拡張機能を無効にできるのは 350 シリーズブリッジのみです。Cisco Aironet 1300 シリーズおよび 1400 シリーズ ワイヤレスブリッジでは、Aironet 拡張機能を無効にできません。

## Q. ブリッジと関連付できるデバイスを教えてください。

## A. ルートブリッジ：

- 非ルートブリッジ デバイスおよびクライアントとの関連付けおよび通信を実行できます。
- 他のルートブリッジ デバイスとは通信しません。
- 複数の非ルートブリッジ デバイスと通信します。

## 非ルートブリッジ

- ルート デバイスまたはクライアントとの関連付けおよび通信を実行できます。
- 他のルート デバイスとは通信しませんが、他の非ルート デバイスがルートブリッジと通信する場合は通信できます。

注ルートブリッジと非ルートブリッジの両方がクライアントにサービスを提供するのは、無線ネットワークの役割の [Root Bridge with Wireless Clients] または [Non-Root Bridge with Wireless clients] がブリッジでサポートされており、かつ有効である場合にに限られます。

## Q. ブリッジ通信の周波数を教えてください。

A. Cisco Aironet 350 シリーズブリッジは 2.4GHz ISM 帯域で動作し、802.11b 標準に準拠して最大 11Mbps のデータレートを實現します。

Cisco Aironet 1300 シリーズ屋外 AP/ブリッジ (以下、AP/ブリッジと呼びます) は、構内の建物間でワイヤレス接続を確立します。300 シリーズ AP/ブリッジは、2.4-GHz ISM 帯域で動作し、802.11g 標準に準拠して 54 Mbps のデータレートを實現します。AP/ブリッジは、AP モードの場合は任意の 802.11b または 802.11g クライアントと通信し、ブリッジモードの場合は他の 1300 シリーズ AP/ブリッジと通信します。

Cisco Aironet 1400 シリーズブリッジ (以下、ブリッジと呼びます) は、建物間のワイヤレス接続を提供します。1400 シリーズブリッジは、5.8 GHz UNII-3 帯域で動作し、802.11g 標準に準拠して 54 Mbps のデータレートを實現します。ブリッジは屋外設置用に設計された自己完結型装置です。外部アンテナをブリッジに接続し、各種アンテナゲインやカバレッジパターンを確保できます。ブリッジはポイントツーポイントとポイントツーマルチポイントの両方の設定をサポートしています。

## Q. Cisco Aironet ワイヤレスブリッジではどのような種類の暗号化オプションを利用できますか。

A. Cisco Aironet ワイヤレスブリッジのすべてのプラットフォームで Wired Equivalent Privacy (WEP) がサポートされています。WEP は、ワイヤレスブリッジを介して接続されているワイヤレスリンク全体のデータ暗号化において、最も安全な方法というわけではありません。ワイヤレスブリッジは、WEP よりも安全な他の暗号化方式をサポートします。

1300 ブリッジは、AES 暗号化、Temporal Key Integrity Protocol (TKIP)、Cisco Key Integrity Protocol (CKIP)、WPA を使用した Cisco Message Integrity Check (CMIC) に加え、動的な WEP (802.1x) をサポートします。動的な WEP キーは、静的な WEP キーより安全性が高くなります。動的な WEP キーは頻繁に変化するため、不正侵入者にとってはキーの割り出しが難しくなります。1400 ブリッジは、動的な WEP (802.1x) に加え、WEP、Temporal Key Integrity Protocol (TKIP)、Cisco Key Integrity Protocol (CKIP)、WPA を使用した Cisco Message Integrity Check (CMIC) をサポートします。

## Q. Cisco Aironet ワイヤレスブリッジではどのような種類の認証メカニズムがサポートされますか。

A. 350 シリーズ ワイヤレス ブリッジでは、オープン認証、共有キー認証、MAC ベースの認証、および EAP 認証をサポートします。350 シリーズ ブリッジでサポートされる認証方式の詳細については、『[Cisco Aironet 350 シリーズ ブリッジ ソフトウェア コンフィギュレーション ガイド](#)』の「セキュリティ設定」セクションを参照してください。

1300 シリーズ ワイヤレス ブリッジは、オープン認証、共有キー認証、EAP 認証、MAC アドレス認証に加え、MAC ベース認証、EAP 認証、オープン認証の組み合わせ、さらには Cisco Centralized Key Management ( CCKM )、および WPA キー管理をサポートします。1300 シリーズ ブリッジでサポートされる認証方式の詳細については、『[Cisco Aironet 1300 シリーズ屋外 アクセス ポイント/ブリッジでの Cisco IOS ソフトウェア コンフィギュレーション ガイド 12.3\(7\)JA](#)』の「認証タイプの設定」を参照してください。

1400 シリーズ ワイヤレス ブリッジは、オープン認証、共有キー認証、EAP 認証、および WPA キー管理をサポートします。1400 シリーズ ブリッジでサポートされる認証方式の詳細については、『[Cisco Aironet 1400 シリーズ ブリッジ ソフトウェア コンフィギュレーション ガイド 12.2\(15\)JA](#)』の「セキュリティ設定認証タイプの設定」セクションを参照してください。

## Q. Wired Equivalent Privacy ( WEP ) キーとは何ですか。

A. WEP は、WLAN デバイス間で送信されるデータ信号の暗号化および復号化に使用されます。WEP は IEEE 802.11 のオプション機能で、転送中のパケットの暴露や改ざんを防止し、ネットワーク使用のアクセス コントロールを行います。この規格で規定されているように、WEP では 40 ビットまたは 10 ビットのキーによる RC4 アルゴリズムが使用されます。RC4 ではデータの暗号化と復号化に同一のキーを使用するため、RC4 は対称アルゴリズムです。WEP をイネーブルにすると、各無線「ステーション」にはキーが配備されます。このキーは、電波を介してデータを送信する前に、データをスクランブルするために使用されます。あるステーションが適切なキーでスクランブルされていないパケットを受信すると、そのステーションはそのパケットを廃棄します。このようなパケットはホストに配信されません。

WEP は、ワイヤレス ブリッジを介して接続されているワイヤレス リンク全体のデータ暗号化において、最も安全な方法というわけではありません。ワイヤレス ブリッジは、WEP よりも安全な他の暗号化方式をサポートします。

たとえば、1300 ブリッジは、AES 暗号化、Temporal Key Integrity Protocol ( TKIP )、Cisco Key Integrity Protocol ( CKIP )、WPA を使用した Cisco Message Integrity Check ( CMIC )に加え、動的な WEP ( 802.1x ) をサポートします。動的な WEP キーは、静的な WEP キーより安全性が高くなります。動的な WEP キーは頻繁に変化するため、不正侵入者にとってはキーの割り出しが難しくなります。1400 ブリッジは、動的な WEP ( 802.1x )に加え、WEP、Temporal Key Integrity Protocol ( TKIP )、Cisco Key Integrity Protocol ( CKIP )、WPA を使用した Cisco Message Integrity Check ( CMIC ) をサポートします。

## Q. ブリッジのパスワードを忘れてしまった場合は、どうしたら回復できますか。

A. コンソール ポートから Cisco Aironet ワイヤレス ブリッジを設定するためのパスワードを忘れた場合は、設定をすべてリセットする必要があります。

350 シリーズ ワイヤレス ブリッジの設定のリセット方法については、『[Cisco Aironet 機器のパスワード回復手順](#)』の「Aironet 350 シリーズ ブリッジ」セクションを参照してください。

1300 シリーズ ワイヤレスブリッジの設定をリセットする方法の情報に関しては [Cisco エアロネット 機器](#) に関してパスワード回復手順の [ブリッジ](#) セクションを [Aironet 1310 シリーズ](#) 参照して下さい。

1400 シリーズ ワイヤレスブリッジの設定をリセットする方法の情報に関しては [Ciscoエアロネット 機器](#) に関してパスワード回復手順の [ブリッジ](#) セクションを [Aironet 1410 シリーズ](#) 参照して下さい。

## Q. ワイヤレスブリッジの一般的な通信範囲はどの程度ですか。

A. この質問に対する答えは、多くの要因に左右されます。たとえば、必要なデータレート（帯域幅）、ラインオブサイト、アンテナのタイプ、アンテナケーブルの長さ、伝送を受信するデバイスによって変わります。最適なインストール条件下では、最大 25 マイル（約 40 Km）までの範囲をカバーできます。ワイヤレスブリッジの通信範囲は、[Outdoor Bridge Range Calculation Utility](#) を使用して計算できます。

## Q. ブリッジのイーサネットポートの速度はどのくらいですか。

A. ブリッジのイーサネットポートは、10baseT RJ-45 コネクタ、10base2 BNC コネクタ、または Attachment Unit Interface (AUI) トランシーバを伴う 10base5 上で 10 Mbps をサポートします。コネクタの種類に関わらず、半二重だけがサポートされます。

## Q. ブリッジの無線周波リンクに対する干渉の発信元として考えられるものは何ですか。

A. 2.4GHz のコードレス電話、正しくシールドされていない電子レンジ、および他社製のワイヤレス装置など、さまざまな装置からの干渉が考えられます。警察のレーダー、電気モーター、および機械の中の可動金属部品なども干渉を起こす場合があります。Radio Frequency (RF) 干渉に関する詳細については、[無線周波通信に影響する問題のトラブルシューティング](#) を参照して下さい。

ワイヤレスブリッジで接続が断続する問題については、「[ワイヤレスブリッジで接続が断続する問題](#)」を参照してください。

## Q. ブリッジを工場出荷時のデフォルト設定に戻す方法を教えてください。

A. 350 シリーズ ワイヤレスブリッジの設定のリセット方法については、『[Cisco Aironet 機器のパスワード回復手順](#)』の「[Aironet 350 シリーズブリッジ](#)」セクションを参照してください。

1300 シリーズ ワイヤレスブリッジの設定をリセットする方法の情報に関しては [Ciscoエアロネット 機器](#) に関してパスワード回復手順の [ブリッジ](#) セクションを [Aironet 1310 シリーズ](#) 参照して下さい。

1400 シリーズ ワイヤレスブリッジの設定をリセットする方法の情報に関しては [Ciscoエアロネット 機器](#) に関してパスワード回復手順の [ブリッジ](#) セクションを [Aironet 1410 シリーズ](#) 参照して下さい。

## Q. ワイヤレスブリッジでサポートされているモードを教えてください。

A. ワイヤレスブリッジは、次のいずれかのモードで動作できます。

- インストールして下さいか。アンテナアラインメント目的におけるブリッジリンクセットアップモードに AP/bridge を置きます。自動オプションでは、AP/ブリッジは、ブリッジモードの他の AP/ブリッジや AP へのリンクを自動的に検索するように設定されます。ルートオ

- プションおよび非ルート オプションでは、AP/ブリッジを手動で設定できます。
- 非ルートか。非ルートブリッジ モードに AP/bridge を置きます。 wireless clients オプションでは、非ルート AP/ブリッジが非ルート ブリッジ モードの間にクライアントを関連付けできます。
  - ルートか。ルートブリッジ モードに AP/bridge を置きます。 ap-only オプションでは、AP/ブリッジはルート AP として動作します ( デフォルトのステーションの役割 )。
  - スキャナか。AP/bridge をスキャナだけとしてように操作するために引き起こし、クライアントデバイスからのアソシエーションを許可しません。 AP/ブリッジはスキャナとして 無線データを収集し、ネットワーク上の WDS サーバに送信します。 スキャナ モードは、ネットワーク上の WLSE デバイスと併用する場合にのみサポートされます。 注すべてのワイヤレスブリッジが、ここで説明したすべてのモードをサポートしているわけではありません。 ワイヤレスブリッジでサポートされているモードの詳細については、ワイヤレスブリッジ固有のコンフィギュレーション ガイドを参照してください。

## Q. アンテナにはライン オブ サイトが必要ですか。

A. ブリッジに接続しているアンテナには、可視のライン オブ サイトだけでなく、無線のライン オブ サイトも必要です。 無線のライン オブ サイトには、フレネルゾーンと呼ばれる可視のライン オブ サイトのまわりの楕円空間が含まれます。 最適なパフォーマンスのために、フレネルゾーンには、木、電力回線、建築物、地理上の障害物のような障害物が一切ない状態にしてください。 詳細については、『[ワイヤレス LAN ネットワークにおける接続性のトラブルシューティング](#)』を参照してください。

## Q. 340 および 350 シリーズ ワイヤレスブリッジは Cisco IOS® に変換できますか。

A. いいえ。 340 および 350 シリーズ ワイヤレスブリッジは Cisco IOS に変換できません。 VxWorks が動作する 350 シリーズ アクセスポイントは Cisco IOS にアップグレードできますが、340 および 350 シリーズ ワイヤレスブリッジは Cisco IOS にアップグレードできません。 Cisco IOS で動作するのは、1300 および 1400 シリーズのみです。

## Q. 連携して動作する 2 台の Cisco 1310 ブリッジを購入しましたが、同じワイヤレス ネットワークにある Cisco 342 ブリッジが、これらの Cisco 1300 ブリッジと通信できません。 これらのブリッジには互換性がありますか。

A. いいえ 1300 のブリッジが Cisco と互換性がない 340 のブリッジし、それ故に互いに伝えることができません Cisco は、Cisco 1300 ブリッジの詳細については、『[Cisco Aironet 1300 シリーズ屋外アクセスポイント/ブリッジ Q&A](#)』を参照してください。

## Q. Cisco 340 シリーズ ワイヤレスブリッジに複数の VLAN を設定することはできますか。

A. いいえ。 Cisco 340 シリーズ ワイヤレスブリッジは、1 つの VLAN のみをサポートします。 Cisco Aironet 340 シリーズブリッジを使用すると、複数のリモートイーサネット LAN を接続して 1 つの仮想 LAN ( VLAN ) を構成できます。

## Q. SSID をインフラストラクチャ モードに設定する必要があるのはどのような場合ですか。 またこのパラメータは、ワイヤレスブリッジ、アクセスポイント



**( AP )、または WGB でどのように設定しますか。**

A. インフラストラクチャ SSID は、非ルート AP/ブリッジまたは WGB 無線をこの SSID に関連付けるために使用します。

これを設定するには、次の CLI コマンドを追加します。

```
bridge#configure terminalbridge(config)#interface dot11radio 0bridge(config-if)#ssid  
bridgemanbridge(config-ssid)#infrastructure-ssidbridge(config-ssid)#end
```

SSID の詳細については、『[SSID の設定](#)』を参照してください。AP と WGB を設定する場合、関連付けを行うためには、それらに同じ SSID が必要です。

**Q. ワイヤレスブリッジは、Cisco ルータと同様に Netflow をサポートできますか。**

A. いいえ Cisco Aironet ワイヤレスブリッジは Netflow をサポートしません。ただし、SNMP MIB を使用して、入出力のパケット数とバイト数をサポートすることはできます。

**Q. Cisco 1410 ワイヤレスブリッジは、Wi-Fi Protected Access2 ( WPA2 ) または Advanced Encryption Standard ( AES ) をサポートしますか。**

A. いいえ。Cisco 1410 ワイヤレスブリッジは WPA2 も AES もサポートしません。

**Q. 1310 ワイヤレスブリッジがブリッジモードで動作する場合とアクセスポイント ( AP ) モードで動作する場合の、それぞれの最大通信範囲はどの程度ですか。**

A. 1310 シリーズには、装置にアンテナが内蔵されています。ブリッジがブリッジモードで動作する場合、ブリッジ間の通信範囲は数 km に及びます。ブリッジが AP モードで動作する場合、クライアントが到達できる通信範囲は制限されます。

クライアントは 1 km の距離からでもブリッジを認識できることがあります。しかし、ブリッジからの信号を受け取ってブリッジに接続することはできません。ワイヤレスクライアントは、最大約 200 m またはそれ以下の距離で AP として動作する 802.11g AP または 1310 にアクセスして到達することができます。

**Q. 1300 ブリッジで壁用マウントキットと内部アンテナを組み合わせることはできますか。**

A. いいえ。壁用マウントキットを使用すると、内部アンテナの指向性が壁内に向かうことになります。また、壁用マウントキットはアンテナに対応します。

**Q. 壁用マウントキットに設置した内部アンテナ搭載の 1310 ワイヤレスブリッジは調整可能ですか。それとも固定されていますか。**

A. これは固定型のソリューションです。したがって、壁用マウントキットを使用する場合は、外部アンテナを使用する必要があります。

**[関連情報](#)**

- [Cisco Aironet 機器のパスワード回復手順](#)
- [無線周波数通信に影響する問題のトラブルシューティング](#)
- [ワイヤレス LAN ネットワークの接続に関するトラブルシューティング](#)
- [Cisco Aironet 350 シリーズ テクニカル ノート](#)
- [Cisco Wireless Downloads \( 登録ユーザ専用 \)](#)
- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)